



成田市長  
小泉一成

# 遂げる一年に

明けましておめでとございませう

市民の皆様には、令和4年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

## 成田から世界へ 新生成田市場

市民の皆様、医療従事者・事業者の皆様には、長きにわたり新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご協力いただき誠にありがとうございます。

今年成長してゆく年といわれる寅年です。新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、寅年にあやかり、本市のさらなる発展に向けた一年とする決意であります。

本市のさらなる発展に向けて、成田空港の更なる機能強化をはじめ、吉倉地区周辺のまちづくり、新生成田市場の開場による農水産物の輸出拠点化などに取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症と共存していかなければならない現状において、ワクチン接種を始めとした感染拡大の防止はもとより、疲弊した観光業・商工業・農業に対する経済対策を強力に推進し、市民の皆様が希望を持ち安全・安心に暮らせる「まち」を目指して、市政運営に全力で取り組んでまいります。

日本の農水産物は海外で根強い人気があり、輸出額をさらに伸ばすことができます。

新生成田市場は、農水産物の加工や効率的な輸出を可能とする「ワンストップ輸出機能」を備えた日本初の卸売市場として、1月20日に開場を迎えます。

市民の皆様の食の台所としての役割に加え、国が掲げる「2025年までに2兆円、2030年までに5兆円」という農林水産物・食品の輸出額目標の達成に貢献できよう努めてまいります。

さらに、成田空港や東関東、圏央道などの充実した広域交通ネットワークを最大限に活用できる立地を生かし、市場関連事業者だけでなく空港関連企業なども垣根を越えて連携し、日本の農水産物のおいしさを成田から世界に発信することに、農水産業の発展に貢献できるものと確信しています。

また、鮮やかな盛り付けで彩られる和食は、栄養バランスが優れていることから海外でも高い評価を受けています。

## 観光立市のさらなる推進に向けて

### 国内外に本市の魅力をもPR

新型コロナウイルスワクチンの普及などにより、全国的に観光需要の回復が期待されています。本市においても地域経済を活性化させ、観光客数をコロナ禍前の水準に戻すため、成田太鼓まつりや成田祇園祭、成田伝統芸能まつり、成田弦まつりなどをより一層魅力あるイベントとなるよう関係団体と連携して取り組んでまいります。

### スポーツリズムを推進

また、成田市御案内人・市川海老蔵丈や市観光キャクター「うなりくん」による本市の魅力の発信のほか、ふるさと納税制度を活用した特産品などのPR強化を行い「成田ブランド」の醸成を図ってまいります。

全国大会などの大規模大会の誘致をはじめ、地域の関係機関やプロスポーツチームなどと連携して「NARITAスポーツツーリズムフェス」を開催する予定です。

また、東京オリンピックにおいて事前キャンプを実施した国々との交流を継続し、スポーツツーリズムの推進を図ってまいります。

昨年11月には、アイルランドパラリンピック委員会と友好的な協力関係を継続することを定めた「レガシー協定」を締結しました。

また、障がい者立位テニスの世界大会である「TAP JAPAN OPEN 2022」を5月に開催予定です。今後もパラスポーツの大会などを通じて共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

## 空港と共に持続的に発展していくまちづくり

国際航空運送協会（IATA）は、世界の工業生産や輸出入などが既にコロナ禍前の水準に達していることや、世界的にワクチンが普及する見込みであることなどを踏まえ、2023年には航空需要がコロナ禍前の水準まで回復するとの見通しを示しております。

新型コロナウイルス感染症が収束した際には、必ずや成田空港も活気を取り戻し、世界中の人々が集い行き交う空港としてさらなる成長を果たしていくものと確信し

# さらなる発展を

年頭所感

ております。本市をはじめとする空港周辺地域の発展のため、成田空港の更なる機能強化の推進が着実に図られるよう、国・県・空港会社と連携・協力して取り組むとともに、騒音地域にお住まいの皆様様の生活環境の保全との両立を図れるよう、関係機関との連携をさらに深めながら騒音対策の推進に取り組んでまいります。

今後も空港と共に持続的な発展を目指し、成田空港の更なる機能強化などに伴う新たな開発需要や人口増加に適切に対応していくため、都市機能・住環境の整備が図れるよう、吉倉地区周辺の新たなまちづくりなどに取り組んでまいります。

## 子育て世代に魅力あるまちづくり

女性の社会進出などに伴い、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、子育てを社会全体で支援していくことが求められています。そのため、八生小学校の改修工事に合わせて八生児童ホームの改修を行い、本年4月から定員の拡大を図ります。また、本市初となる幼保連携型認定こども園を4月に開園予定であり、整備を行っている学校法人に対して

整備費の一部を補助するなど、保育を必要とする全ての児童が保育園などに入所できるよう、待機児童の解消に取り組んでまいります。

## 医療・福祉の安心したまちづくり

### ワクチン接種に万全の体制を

新型コロナウイルス感染症については、南アフリカで新たに報告されたオミクロン株の国内での感染確認を受け、再び水際対策が強化されるという事態となっており、今後も海外を含めた感染者の状況については注意深く見守っていく必要があるものと考えております。

感染予防対策の決め手となるワクチンの接種状況につきましては、現在、12歳以上の人が接種対象者となっており、約12万人の市民の皆様へ接種を進めております。

集団接種をはじめ、医療機関での個別接種などと合わせて、昨年12月前半の時点で10万人を超える対象者が接種を完了し、接種率は8割を超えております。

また、昨年12月から3回目の接種の体制を確保し、医療従事者などへの接種を進めているところであります。引き続き、市民の皆様が安全・安心、そして速やかにワクチン接種を受けていただけるよう万

全な体制を整えてまいります。市民の皆様には引き続き、小さな手洗い、マスクの着用などの感染防止対策にご協力をお願いいたします。

### 高齢者福祉の充実に向けて

本市の高齢化率は全国・県内の平均と比べても比較的低い数値ですが、今後75歳以上の後期高齢者の大幅な増加が見込まれています。そのため、特別養護老人ホームなどのハード面の整備を進めるとともに、介護予防や買い物困難者への生活支援などのソフト面の施策も推進してまいります。

昨年の東京オリンピック・パラリンピックの開催は日本中に大きな感動と活力を与えてくれました。そして何より、本市出身で体操競技メダリストの橋本大輝選手、ボクシングフライ級銅メダリストの並木月海選手の活躍は市民をはじめ日本中の皆様に夢と希望、そして深い感動を与えてくれました。私も両選手の活躍に負けぬよう、未来に向けて輝かしく発展し続けるまちを目指し、全力で取り組んでまいります。

本年も市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。